

審 議 経 過

NO.1

会議名	令和3年度第2回小金井市青少年問題協議会		
事務局	児童青少年課		
開催日時	令和4年3月30日(水)午前10時00分～		
開催場所	小金井市役所第二庁舎801会議室及びオンライン		
出席者	委員	西岡会長、清水委員、白井委員、村山委員、小林委員、黒須委員、三島委員、土居委員、浅野委員、金井委員、小山委員、八木委員、大貫委員、大内委員、大熊委員、天野委員、大澤委員	
	その他	欠席：寺内委員、佐藤委員、後藤委員、鈴木委員、倉持委員、辻川委員、平見委員、住野委員	
	事務局	鈴木児童青少年課長、前田児童青少年係長	
傍聴の可否	可	傍聴者数	なし
会議次第	1 開会 2 会長挨拶 3 議題 (1) 青少年問題協議会の審議のテーマについて (専門委員会からの報告) (2) その他 (関係行政機関からの報告、連絡調整事項) 4 閉会		
提出資料	○ 配付資料 資料4 令和3年度小金井市青少年問題協議会開催状況 資料5 令和3年度専門委員会の活動の概要報告 資料6 小金井市子どもオンブズパーソン事業概要 ○ その他配付物 ・保護司会報 北多摩東(令和3年度第2号) ・青少健だより「花みずき」		
会議結果	・「コロナ禍の実態」をテーマとし、子どもたちとその保護者にアンケート調査を行い、その結果を受けたリーフレットを作成、配布すること決定した。 ・アンケートの内容については、専門委員会で確定することとした。 ・子どもオンブズパーソンの設置について報告した。 ・多摩府中保健所、保護観察所立川支部より小金井管内の青少年に関する情報の提供があり、共有した。		

鈴木児童青少年課長	<p>皆さん、おはようございます。定刻になりましたので、始めさせていただきます。着座にて進めさせていただきます。失礼します。</p> <p>本日は、年度末のお忙しい中、御出席いただきましてありがとうございます。</p> <p>児童青少年課長の鈴木と申します。議題に入るまでの間、進行を務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>本日、鈴木委員、辻川委員、平見委員、住野委員から御欠席の御連絡をいただいております。また、寺内委員、佐藤委員、三島委員、後藤委員は、ちょっと遅れるという状況になっておりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>本日は、小金井市青少年問題協議会条例第6条に規定する委員の半数以上の出席者がおりますので、協議会が成立しておりますことを御報告させていただきます。</p> <p>開会に先立ちまして、本日の会議形式に伴う注意事項をお伝えいたします。</p> <p>本日はオンラインと併用で開催させていただいております。ウェブ会議での注意点が2点ございます。</p> <p>個人情報や機密情報は発信しないよう、御配慮ください。</p> <p>また、画像の録画や録音は御遠慮ください。</p> <p>次に、発言の関係でございます。会議中は基本的にマイクをミュートにいただき、発言される間のみ、マイクをオンをお願いいたします。</p> <p>会場で参加の方につきましては、反響を防止するために、端末のスピーカーをオフにさせていただいております。聞こえづらい場合につきましては、事務局にお申し出ください。</p> <p>また、1人1台の端末が御用意できない関係で、大変恐縮ではございますが、発言される場合は、事務局のほうから端末をお席にお持ちさせていただきますので、そちらで発言をお願いいたします。</p> <p>会場、オンラインどちらもですが、会議録作成のため、発言前にお名前を名のっていただいてから御発言いただきますよう、御協力をお願いいたします。</p> <p>それでは、ただいまから令和3年度第2回小金井市青少年問題協議会を開催いたします。</p> <p>お手元の会議次第に沿って進めさせていただきます。</p> <p>初めに、会長の西岡市長より御挨拶を申し上げます。</p>
-----------	--

西岡会長	<p>なお、以降の進行につきましては、会長が座長を務めることになっておりますので、よろしくお願い申し上げます。</p> <p>市長、よろしくお願い致します。</p> <p>皆様、おはようございます。本日は年度末の大変お忙しい中を、令和3年度第2回小金井市青少年問題協議会に御出席をいただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>まず初めに、小金井市のコロナの対応状況からお伝えをさせていただきます。</p> <p>ワクチン接種を希望する12歳未満、5歳から11歳対象のワクチン接種は、本市では3月12日から開始しております。3月21日時点で12歳以上20歳までの青少年では、2回目接種を終えられた方は79%となっています。12歳未満の方は、9日間で576人が1回目接種を終えられています。</p> <p>感染状況についてであります。東京都全体の数値とほとんど変わらない状況が本市でも確認されております。第5波が広がった昨年8月のお盆の週では、二十歳未満の感染者は全体の16%で、働き盛りの世代が8割でありましたが、第6波の今回、例えば2月の最終週では、二十歳未満は31%、しかも感染者数の3倍の数ということで、とりわけオミクロン株による第6波では、未成年の感染が今までにないほど確認されておりました。</p> <p>現在は、まん延防止措置も解除されておりますが、引き続き、感染拡大防止対策への御理解、御協力をよろしくお願いいたします。</p> <p>本日は、専門委員会からアンケートを受けての今期の審議テーマについて、御報告をいただきます。また、子どもたちを取り巻く環境について、相互に連絡調整や意見具申を行う本協議会の役割に沿って、本日御出席いただいている医療や福祉、警察などの関係行政機関の皆様から、近況を御報告いただきたいと存じます。</p> <p>限られた時間ではございますが、忌憚のない御議論をお願いいたしまして、挨拶に代えさせていただきます。よろしくお願い致します。</p> <p>それでは、この後は、座長を務めさせていただきます。</p> <p>次第3、議題に入らせていただきます。</p> <p>先に資料確認を事務局からお願いします。</p>
前田児童青少年係長	<p>事務局の前田です。</p> <p>本日お配りしました資料ですが、事前送付資料として、資料4、令和3</p>

	<p>年度小金井市青少年問題協議会開催状況、資料5、令和3年度専門委員会の活動の概要とアンケート案、資料6、小金井市子どもオンブズパーソン事業概要、それと参考といたしまして、保護司会の会報、北多摩東（令和3年度第2号）、青少年健全育成地区委員会発行の青少健だより「花みずき」をお送りしております。</p> <p>御確認いただき、不足がございましたら、事務局までお申しつけください。</p> <p>また、この場をお借りいたしまして、資料の一部訂正をさせていただければと思います。</p> <p>資料5の1ページ目、専門委員会の開催日程につきまして、第3回は2月2日となっておりますが、正しくは2月4日金曜日の誤りでございました。申し訳ございません。</p> <p>また、次第の裏面に資料4、一枚物を印刷しておりますが、天地が逆さまになっております。内容に訂正はないんですけれども、読みづらい資料となりまして、大変申し訳ございません。</p> <p>資料の確認は以上です。</p> <p>資料については、よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、次第3、議題に入らせていただきます。</p> <p>議題(1)、青少年問題協議会の審議のテーマについてを議題といたします。</p> <p>審議テーマにつきましては、第1回協議会で選出された専門委員11名の皆様に審議していただきました。専門委員11人の中から、小金井第一小学校校長の浅野委員が委員長に、副委員長に緑中学校校長の金井委員が選出され、今日までに3回、専門委員会を開催し、当協議会のテーマについて審議を重ね、委員会としてまとめていただいたところでございます。</p> <p>それでは、浅野専門委員長より、専門委員会の審議内容及び審議結果につきまして、報告をお願いいたします。</p>
西岡会長	<p>失礼いたします。小金井第一小学校校長の浅野と申します。</p> <p>専門委員会委員長といたしまして、令和3年度、合わせて3回開催させていただきました専門委員会の審議結果について、御報告をさせていただきます。</p> <p>お手元の資料5を御覧ください。「専門委員会の活動の概要報告（令和3年度）」という資料になります。</p> <p>ここに書かれておりますとおり、第1回専門委員会は令和3年11月9</p>
浅野専門委員長	

日に開きまして、そこで委員長と副委員長の選出の後、今年度の調査、協議のテーマについて検討を開始いたしました。

各委員より、現在の市内の青少年に関する問題とその啓発方法について案を出し合い、協議いたしました結果、(1)コロナ禍での生活の実態、(2)ネットリテラシー、ICT化が、大きく今期のテーマの候補として挙がり、今期のテーマについては次回、引き続き、アンケートの手法等も含めて、総合的に議論していくこととなりました。

第2回専門委員会は、12月23日に開催されました。議論の結果、調査、協議のテーマ案は「コロナ禍の実態」として、併せて意見の多かった「ICT化」については、アンケートの設問中に一部含めることで対応することといたしました。

内容については、前回同様、子どもと保護者に同じ質問をすることで、子どもと保護者間の意識の差の有無も確認できる内容のアンケートとすることとし、各委員から設問案を出し合い、次の会議で詳細を検討することといたしました。

調査対象については、今期はコロナ禍の影響を大きく受けた年代とその保護者とすること、また、ITC化ということで、学校も児童・生徒1人に1台、タブレットの貸与をされていることから、アンケートの実施方法について、ウェブアンケートを含めて検討することとなりました。

第3回専門委員会は、今年2月4日に開催し、前回までの議論の内容で作成されたアンケート(案)について検討し、子どもたちの「コロナ禍の実態」について、その状況の変化の実態と、子どもや保護者にどう認識されているかを捉えることを目的に、「コロナによる変化」、「コロナ禍に対する状況認識」、「IT機器との付き合い方」の3つについて設問数を絞り、資料5のとおり、24問から成るアンケート(案)を作成いたしました。

なお、問24については、子どもに対して聞く必要のない項目のため、保護者のみとして、子どもは23問となっております。

このアンケート(案)は、子ども用、保護者用を両面印刷で資料5に添付しておりますので、御確認ください。

また、調査対象の学年については、コロナ禍で大きく影響を受けた学年であること、また、アンケートへの取組可能な年齢であることを条件に考え、来年度、中学校3年生と小学校6年生となる学年に調査することといたしました。

これら計3回の専門委員会の結果といたしまして、①小金井市の子ども

	<p>たちにコロナが与えた影響について、子ども自身と保護者の認識を把握することで、子どもの健全な育成に資することを目的として、アンケート調査を行う。調査の要点は、子どもの実態把握と子どもと保護者の認識の違いに重点を置く。</p> <p>②調査方法は、市内公立小・中学校各2校で、小学校6年生と中学校3年生を各学年4学級ずつ抽出し、児童・生徒及びその保護者に対して、7月に同時に実施する方式とする。</p> <p>③調査後、その内容を分析し、啓発はリーフレットの作成・配布により市立小・中学校の全児童・生徒経由で各家庭に対して行いたい。</p> <p>以上の3点を本日、本協議会に御報告させていただくというものでございます。</p> <p>なお、アンケートについてですが、対象数は、学校経由で依頼することで、回収率が子ども95%、保護者80%を超えることから、各学年2学級以上の実施で、子どもと保護者の認識の違いの有無も含めて、従前のアンケートにおいても、啓発目的として分かりやすい結果が出ておりますので、アンケートの対象数としては適正と考えております。</p> <p>本日、御承認をいただければ、新年度第1回の専門委員会で最終的なアンケートを作成し、夏季休業日前の7月にアンケートを実施し、10月以降にアンケート結果を受けて、リーフレットの基本的な構成等の検討に入り、来年度の本協議会で、ほぼ完成した原案を御報告させていただきたいと考えております。</p> <p>以上、御報告を申し上げます。</p>
西岡会長	<p>ただいま、浅野委員長からの報告が終了いたしました。</p> <p>専門委員会より、「コロナ禍の実態」をテーマとし、子どもたちとその保護者にアンケート調査を行い、その結果を受けたリーフレットを作成、配布したい旨の提案がございました。</p> <p>専門委員長への御質問、御意見などがありましたら、皆様からお願いいたします。</p>
小林委員	<p>小林委員。タブレットを持ってまいりますので、少々お待ちください。</p> <p>細かなことで申し訳ございません。専門委員の皆様、大変ありがとうございます。</p> <p>1点、子ども向けのアンケートの回答の選択肢について疑問がありましたので、教えていただければと思います。</p> <p>ナンバー1、13、14の選択肢4のところ「その他・特になし」と</p>

西岡会長 浅野専門委員長 前田児童青少年係長	<p>なっております、「その他」と「特にない」、また、ナンバー1の「いない」というのは、少し意味合いが違うのかなと思って、子どもさんはちょっと選びにくいかなと思いました。</p> <p>特にナンバー1は、「その他」というのは選択肢1に含まれるものだと思います。ですので、選択肢4は「いない」のみのほうが選びやすいのではないかなと思ひまして、13、14はまた少し違うんですが、このままでいいのであれば、少し御説明いただければと思ひます。</p> <p>浅野委員長。</p> <p>これについては、事務局からお答えをいたします。</p> <p>お願いいたします。</p> <p>事務局の前田です。</p>
小林委員	<p>御質問いただきました、子ども用の設問のうち、問1、13、14の選択肢4が複数あることについてのご質問だったかと思ひます。</p> <p>こちらにつきましては、まず、ウェブアンケートの形で作るのであれば、選択肢は極端な話、10個とかそういった形で御用意することは可能なんですけれども、子ども向けのアンケートにつきましては、ウェブアンケートで回収してみようということで、専門委員会の中で話が行われているんですが、保護者へのアンケートにつきましては、アンケートの特性上、大多数の方からアンケート回答をもらうのであれば、ウェブアンケートの方式がよろしいかなというところだったんですけれども、今回、学校を通じて特定の保護者へアンケートを実施するとなった場合、今までの、スキャネットシートというんですけれども、設問が4つぐらい、選択肢が取れるような、マークシート型の用紙を使おうと思ひしております、そちらを使う想定で、選択肢を4つまでという形で今、考えております。</p> <p>その中で、4つに絞り切れなかった部分が、選択肢4の中に2つ、意味合いが違うものがまとまってきているというところで、現時点では案となっているんですけれども、おっしゃるとおり意味合いが違うものがまざっても問題がないのか、この辺りの詳細につきましては、あと1回、来年度、専門委員会を開きまして、本日いただいた御意見を踏まえて、最終案をまとめていきたいなと思ひしておりますので、専門委員会に持ち帰らせていただいて、検討させていただければなと思ひしております。</p>
西岡会長	<p>ちょっとそういう意味ではなかったんですけど、持ち帰ってもう一度検討いただけるということですので、結構です。</p> <p>小林委員、よろしいでしょうか。</p>

小林委員	はい。あとで質問の詳細について確認いただければと思います。
西岡会長	他にございますでしょうか。
	白井委員。
白井委員	専門委員の皆様、お疲れさまです。
	<p>2つほど意見を言わせていただきますので、ご検討いただけたらと思うんですが、まず1つ目は、今、小林委員の御発言に対する回答なんです。確認ですけれども、子どもはウェブアンケートで、保護者はマークシートということですよ。保護者もウェブのほうが回答しやすいのではないかと一般論としてちょっと思うんですが、なぜ保護者だけがマークシートになったのかというところの説明を、もう一回詳しく聞かせていただきたいというのが1つです。</p>
	<p>あと一つは、アンケート案の1つ目、一番上です。コロナ前と比べ、あなたとの関係に変化を感じた人はいますかということで、ここに一応家族が含まれているんですけれども、大きなくりの2つ目、家庭のところの3、4、5の設問のところ、ここでまた保護者のことを聞いているんですけれども、ちょっとかぶってしまう可能性があります。ただ、1つ目のところは家族で、保護者ではないですよ。というのはあるんですけれども、ただ、家族というところと、問2の変化のあった人との関係の中で、家族を保護者として回答したときには問3と若干かぶっているところがあるので、ここをどう整理したらいいかというのは、もしよろしければ御検討いただきたいというのが意見です。</p>
	<p>それともう1点、追加で恐縮なんです。まず、この1つ目の設問が若干分かりにくいような気がしまして、といいますのは、コロナ前と比べ、あなたとの関係に変化を感じた人はいますかというのが、選択肢が、多分これはどれか1つを選ぶということになるんですかね。複数回答じゃないですから、もしできるんだったら、複数回答にさせていただいたほうがいいかと思うんですが、ただ、そうなったときに、2つ目の設問、変化があった場合に、どのような変化なのか、例えば友達とはいい方向に変わったけれども、家族とは悪い方向に変わったとかいろいろあるので、設問の1つ目と2つ目の整理も必要なのかなと思いました。</p>
	<p>意見としては、問1のところは、この「変化を感じた人はいますか」の後に、最も、一番変化があった人をお選びくださいみたいな感じにすると、複数回答の必要がなくなるので、そうすると2つ目は選びやすいかなと思いますので、そういった意見と、さっき申し上げた家族というところと、</p>

西岡会長	<p>2つ目の単一回答か複数回答かわかりやすくという部分を検討いただければと思います。よろしくをお願いします。</p> <p>以上です。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>事務局。</p>
前田児童青少年係長	<p>事務局です。御意見ありがとうございました。</p> <p>専門委員会の中でも、複数回答にするのか、単一回答にするのかというところが、まだ詰め切っていないよねというお話は出ておりますので、次の会議で協議していきたいなと考えているところです。</p> <p>それと、先にいただきました、保護者へのアンケートをマークシートで検討している理由ということなんですけれども、専門委員長のほうからも御説明がありましたとおり、今まで全てマークシートで、学校を通して、青少年問題協議会のアンケート調査をする場合には、実施をしてきたところです。その中で、保護者に書いてもらったものを学校で回収していただく形を取ることで、回答率が8割を超える調査となっております。</p> <p>アンケート調査、ウェブ調査についてちょっと調べてみたんですけども、大体3割から5割の回答率のところが多くて、今の調査数で、5割に回答が仮に減ってしまった場合、その学年の保護者の感じていることの差異というのが、ちょっと確認しづらくなるのかなというところを懸念しております。あくまで学校の生徒、子どもとその保護者の認識も分析したいというところで、調査回答数があまり下がらない方法を今回は取りたいというところが趣旨になっております。</p> <p>以上です。</p>
西岡会長 白井委員 西岡会長	<p>よろしいですか。</p> <p>はい。</p> <p>分かりました。</p> <p>ほかにございますでしょうか。</p>
西岡会長	<p style="text-align: center;">(「なし」の声あり)</p> <p>特にないようでございますので、質疑を終了いたします。</p> <p>お諮りいたします。小金井市青少年問題協議会といたしまして、「コロナ禍の実態」をテーマとし、子どもたちとその保護者にアンケート調査を行い、その結果を受けたリーフレットを作成、配布するというところで、御異議ございませんでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">(「異議なし」の声あり)</p>

西岡会長	オンラインの皆さんもよろしいでしょうか。
西岡会長	<p style="text-align: center;">(「異議なし」の声あり)</p> <p>御異議がございませんので、提案のとおり決定することといたします。次に、議題(2)、その他でございます。</p> <p>青少年問題協議会の役割には、関係行政機関相互の連絡調整を図るというものがございますので、まずは、小金井市の青少年問題に関する報告を行わせていただきます。</p> <p>コロナ禍の対策、状況については御挨拶で紹介させていただきましたので、その他の新年度、令和4年度の内容につきまして、御報告させていただきます。</p> <p>資料6を御参照ください。</p> <p>この協議会でも、前期のテーマとしておりました子どもの権利に関連いたしまして、子どもオンブズパーソンという機関を設置いたします。</p> <p>この機関の目的は、子どもの権利侵害に関する相談及び救済に取り組み、もって子どもの権利を実現する文化及び社会をつくっていくこととなります。</p> <p>どのような内容かと申しますと、2、事業概要及び3(1)にありますように、子どものあらゆる相談に対応し、子ども自身の考えや思いを尊重しながら、その子にとって一番いい方法を一緒に考え、それを周りにも分かってもらえるよう相互理解を促す調整活動を行ったりして悩みの解決を目指すとともに、権利侵害があった場合には、申立てに基づく調査、調整、勧告要請などを実施します。このほか、子どもの権利の普及啓発事業も同時に行っていく予定となっております。</p> <p>活動拠点は、小金井市立図書館本館の近くに民間の物件を借用いたしまして、内装改修などを行って、9月からの開設を目指しております。</p> <p>令和4年は、市内で最も古い小金井市立第一小学校が創立150周年を迎えるという節目の年でもあります。こういった状況の中で、小金井市の最上位計画である第5次基本構想・前期基本計画では、子どもの育ちの支援として、子どもの権利を保障し、安心して過ごせる居場所や様々な体験の機会を提供することで、生まれ育つ環境に左右されず、全ての子どもが生き生きと健やかに安心して暮らせるまちを目指すことを掲げております。これからも、小金井で生まれ、育ち、青年になっていく子どもたちが、自分らしく、伸び伸びと成長していける環境を整備していきたいと考えております。</p>

大貫委員	<p>小金井市からの報告は以上でございます。</p> <p>それでは、本日御出席の多摩府中保健所、東京保護観察所立川支部の委員の皆様から、青少年を取り巻く問題、課題などについて、お話しをいただければと思います。</p> <p>それでは、多摩府中保健所、大貫委員、お願いいたします。</p> <p>多摩府中保健所の大貫でございます。</p> <p>本日は、保健所からのお話といたしまして、本年度の薬物乱用防止事業と女性に配慮したAEDの使用について、お話をさせていただければと存じます。</p> <p>まず、薬物乱用防止対策ですが、都は、東京都薬物乱用対策推進計画に基づき、薬乱対策を進めております。本年度は、新型コロナウイルス感染の拡大防止の観点から、様々な啓発イベントは、中止やオンライン等の実施となりました。しかし、その中でも、青少年に薬物乱用防止について考えていただく取組として、中学生を対象としたポスター・標語の募集は例年どおり行いました。</p> <p>本年度は、都全体でポスター9,576作品、標語3万7,077作品の応募がありました。また、薬物乱用防止に関する都の普及啓発事業などに熱心に取り組んだ学校を薬物乱用防止活動率先校として、福祉保健局のホームページ等で公表しており、選出された学校につきましては、表彰状を贈呈させていただいております。</p> <p>小金井市では、6校を選出させていただきました。小金井市立小金井第一中学校が標語部門、小金井市立東中学校がポスターと標語の両方の部門、中央大学附属中学校がポスター部門、東京学芸大学附属小金井中学校が標語部門でございました。</p> <p>都の薬乱防止の取組に御協力いただき、誠にありがとうございました。</p> <p>続いて、女性に配慮したAEDの使用について、お話しいたします。</p> <p>これは、平成2年度に多摩府中保健所で取り組み、今年度まとめたものでございます。発端といたしましては、国内の研究者の研究で、女性のほうが男性よりAEDが使われにくいという報告がございます。京都大学の研究グループが、全国の学校の校内で心停止となった子ども232人について、救急隊が到着する前にAEDが使われたかどうかを調べたものです。</p> <p>その結果、小学校と中学校では、男女に有意な差はありませんでしたが、高校生以上になると大きな男女差、女子生徒への使用が少ないという結果</p>
------	---

	<p>また、ありがたいことに、犯罪歴のある方の引受けに非常に協力的な企業が数社あることも特徴として上げられます。そのため、全く別の地域で生育した少年であっても、実家に引受けを拒否されてしまったり、あと、地元の不良交遊から距離を置くという観点から、少年院を仮退院した後に、小金井市の企業に住み込み就労するようなケースも、この1年、何件かございました。</p>
西岡会長	<p>以上でございます。</p> <p>大内委員、ありがとうございました。</p> <p>それでは、ただいま各機関の委員の方から御報告をいただきました。皆様方から何か御質問等ございましたら、挙手をお願いいたします。</p>
清水委員	<p>清水委員。</p> <p>御報告ありがとうございました。</p> <p>1つ、女性に配慮したAEDの取扱いということで、私も救命救急の講習を受けたときに、やはり同じような取扱いの説明があったんですけども、チラシとか配布をするということなんですが、どういった場所に配布をしているのかなということが気になっていまして、どちらかというと、男性を対象にして配布をしたほうがいいのかと思うんですけども、その辺を教えていただければと思います。</p>
西岡会長 大貫委員	<p>大貫委員、お願いいたします。</p> <p>大貫でございます。</p> <p>基本的には、公立の様々な施設、AEDが配置されているところにチラシと、それから、AEDの機械の中に設置できるような、小型の啓発資材をお送りさせていただきました。学校ですとか市役所、それから、消防署、その他にお送りさせていただいております。</p>
清水委員 西岡会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>よろしいでしょうか。</p> <p>他にございますでしょうか。</p>
小林委員	<p>小林委員。</p> <p>御説明ありがとうございました。せつかくの機会ですので、1点、質問させていただきます。</p>
大貫委員	<p>薬物のことですが、コロナ禍において、利用が都内では増えている、もしくは増えている傾向にあるというような今年の報告や推計なんかはありますか。</p> <p>申し訳ございません、今年度のまとめについては、まだできておりませ</p>

小林委員 西岡会長	<p>るので、私のほうからちょっと申し上げるような資料はございません。</p> <p>来年度、また機会がございましたら、こちらで詳しく御報告させていただければと思います。申し訳ございません。</p> <p>よろしく申し上げます。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>他にございますでしょうか。</p> <p>オンラインの皆様、何かございますでしょうか。大丈夫でしょうか。</p> <p>（「なし」の声あり）</p>
西岡会長	<p>それでは、関係機関の皆様方への質疑は以上とさせていただきます。</p> <p>関係機関の委員の方から御報告をいただきましたが、そのほかで連絡事項等、共有したい内容がおりの方はいらっしゃいますでしょうか。</p> <p>（「なし」の声あり）</p>
西岡会長	<p>それでは、そろそろ時間となりましたので、以上をもちまして、本会議を閉会とさせていただきます。</p> <p>専門委員の方々には今後、引き続き作業を進めていただきますが、アンケートの実施など、来年度に向けまして、引き続きよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、以上をもちまして、協議会を終了とさせていただきます。</p> <p>本日は誠にありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">— 了 —</p>